

第十二回シンポジウムの開催にあたって

中国第一歴史檔案館館長 孫 森林

尊敬する與那嶺善道教育指導統括監

尊敬する胡旺林副局長

尊敬する皆様

おはようございます。

この実り多き秋に、第十二回中国・琉球交渉史に関するシンポジウムの開幕を迎えます。ここに、今回のシンポジウム開催にあたり主催者である中国第一歴史檔案館を代表して、本日も臨席賜りました責任者の皆様、専門家、研究者の皆様に歓迎の意を表します。

光陰矢の如し。指折り数えてみますと、中国第一歴史檔案館と沖縄県教育委員会が学術的な協力を開始してすでに二十七年が経とうとしております。一九九一年「中琉歴史関係学術交流覚書」を調印して以来、私たちは双方で友好的な関係を継続しつつ、多様な形式での学術交流活動を進めて参りました。あわせて、

一九九六年、一九九八年、二〇〇三年、二〇〇九年、二〇一五年と継続して協議書を締結し、双方による協力・交流が絶えることなくより深化しております。

二十七年來、私たちの協力事業は、豊かで実りの多い成果を得て参りました。今日まで、中琉歴史関係檔案図書シリーズが選編から七編に至るまで八冊、『中琉歴史関係檔案』は三十九冊が編纂・出版され、清代中琉関係檔案史料は四〇〇〇件近く公表されました。學術研究の方面では、中国・琉球交渉史に関するシンポジウム論文集が十一冊、発表された學術論文は七十七本がすでに出版されました。沖縄県でも貴重な文献史料として保存されている『歴代宝案』が校訂出版されました。また、双方が交互に開催している學術シンポジウムが十二回、相互で行われ、派遣、交流した研究者の人数はのべ一〇〇人を超えております。これら一連の成果は、中琉歴史関係研究の堅実な基礎を固め、中琉歴史関係學術研究の範疇を不断に広げ、中日双方の専門家や学者らの関心や支持・協力を得ました。双方の交流事業の期間において、中国第一歴史檔案館は沖縄県教育委員会の招きに応じ、毎年研究者を沖縄へ派遣し交流を行い、熱いおもてなしを受けました。ここに、中国第一歴史檔案館を代表しまして、沖縄県教育委員会に対し衷心より感謝の意を表します。

私たち双方の協力で重要なのは、本シンポジウムが中琉歴史学术交流の促進をするための良い場となるよう築いていくことです。このシンポジウムは「明清時期における中琉間を往来した公文書の研究」をメインテーマとし、中日双方であわせて八名の専門家・学者による學術報告があります。皆それぞれ

異なる側面から中琉歴史関係の問題を詳しく解説していただけることと大変期待しております。私は私たち双方がこの会議の機会に、過去二十七年間の協力の成果をふり返り、中琉歴史関係研究の分野で協力を引き続き深め、素晴らしい未来が築かれていくことを期待します。

最後となりますが、今回のシンポジウムの成功と、各責任者および専門家・学者の皆様の御健勝をお祈りいたします。

ありがとうございます。

二〇一八年十月二十九日

(翻訳 我部大和)

第十二回シンポジウムの開催にあたって

国家檔案局副局長 胡 旺 林

尊敬する與那嶺善道教育指導統括監

尊敬する皆様

おはようございます。

入念な準備を経て、本日ここに第十二回中国・琉球交渉史に関するシンポジウムが開会しました。中国
国家檔案局の李明華局長に代わり、又、私個人としてもこの会議の開催に対し、熱くお祝い申し上げます。

今年是中国の改革开放から四十周年、「中日平和友好条約」締結四十周年を迎えます。つい先日、日本の安倍晋三首相が中国へ正式訪問しました。中国の習近平国家主席は安倍晋三首相との会見で、中日は隣国同士であり、両国の利益は深く関わり合っている。中日関係の長期にわたる健全で安定した発展は両国人民の根本的な利益に一致しており、地域と国際社会の普遍的な期待でもある、と強調しました。本シンポジウムは、中日両国の歴史檔案の交流における有効的な方法として、中日双方の学术交流のための重要な場であり、また友好の懸け橋として築かれました。二十余年の間、中国第一歴史檔案館、関係する研究者および日本の

沖縄県教育委員会は、多大な努力と才知を費やし、すばらしい研究成果を得、互いの交流協力による大きなエネルギーを発揮してきました。

私はこれまで、中国第一歴史檔案館の館長として、光栄にも近年の中琉歴史関係學術研究の発展の過程を見届け、関わって参りました。二〇一〇年の沖縄訪問は、深く心に残っております。二〇一二年には中国第一歴史檔案館が第十回中国・琉球交渉史に関するシンポジウムを主催し、双方の學術研究と友好的な交流を推し進めました。二〇一五年、私は国家檔案局副局长兼中国第一歴史檔案館館長として、来訪した諸見里明教育長一行と面会し、双方で友好的な会談を行い、協力を継続する協議書を締結しました。本日、私は再び本シンポジウムに参加し、若い研究者が中琉歴史関係研究に加わっているのを拝見しました。若者は希望であり未来です。これは私たちの交流事業が繁栄に向かっていることを示しており、非常に喜ばしく安堵しております。

交流は友好を深め、協力は発展を促進させます。私は、中国第一歴史檔案館と日本の沖縄県教育委員会がより一層協力し、中日双方の人々の理解を深め、中日の文化交流を大きく推し進めていくために大きな役割を発揮してくれることを希望します。

今回のシンポジウムの成功を祈念いたします。

二〇一八年十月二十九日

(翻訳 我部大和)